

## R2.10.27 安全・安心部会 学習会 議事録

※議事は議題部分のみ(枠内は委員意見)

日時・場所 令和2年10月27日(火)午後7時～ オンライン会議  
(東淀川区役所3階304会議室)  
出席者 安全・安心部会委員8名(堤下、行澤、上杉、小川、高瀬、建部、堀、門田)  
他部会委員3名(藤野、眞継、山内)、東淀川警察署1名(服部)  
区防犯担当(奥野、浦田) 区事務局(岡田、風呂)

### 議題1 区内における犯罪の現状及び防犯の取組について(服部警部補より説明)

- ・ 刑法犯(凶悪犯・暴行・窃盗)は府下・管内ともに減少傾向(管内▲20%強)  
1～8月 1,036件(前年比▲321件) ※管内=東淀川警察署管内
- ・ 12月の歳末警戒は街頭・金融機関を従来通り巡回予定
- ・ ひったくりも減少傾向 ひったくり防止カバーキャンペーンでのカバーの普及が要因  
府下 133件(H13～14年のピーク時10,000件/年)  
管内 0件(淀川警察署管内10件・吹田5件・西淀川5件)
- ・ 自動車関連犯罪
  - 自動車盗 府下は減少傾向だが管内は増加傾向  
気づかれないため静かなハイブリット車(プリウスアルファ)が圧倒的に多い  
コンビニへ、業者の荷卸し等短時間だと思いエンジンかけたまま時盗まれる
  - 車上狙い 減少傾向 「車内空っぽ宣言」を推奨  
数年前多発のカーナビは防犯対策が効果をあげ減少  
最近では売れる物(ゴルフバック、CD、DVD等)が狙われる
  - 部品狙い 減少傾向 ハイブリッド車のナンバープレートが多い  
自動車盗と一連で犯罪に使われる

### 議題2 子ども・女性を狙った犯罪の防止について(服部警部補より説明)

- ・ 声かけ、つきまとい事案は件数的には減少傾向
  - 16歳未満のこどもについて
    - 登下校時間帯は見守りの目が多い
    - 発生時間帯は下校後の夕方、遊びに行った帰り等1人になった時
    - 場所は1道路上、2公園が多い
    - 大人のながら見守り(散歩、買い物等しながら)により多くの目線を犯人は嫌う
    - 青パトの効果は大
    - 地域に1台青パトが存在することは犯罪抑止に大きく貢献している
  - 気を付けること
    - 人通りのある所を通る
    - 時間
    - 通学時と同様に遊びに行くときも防犯ブザーを持参する
    - 1人になる時間帯をなくす
- ・ わいせつ事案は今年若干増加傾向 1位 大阪、2位 東京
- 性犯罪は常習性
- 被害者が届け出を躊躇するケースが多いため実際起きている件数が発生件数を上回る
- こどもを狙った犯罪がエスカレートして成人女性を狙った犯罪に移行する

#### ※議題2に対する意見等

- ・女性子どもを狙った犯罪はあまり聞かないが、隠れた性犯罪は増えていると思う
- ・小児性愛者（成人女性を相手にできない大人）がいるのに子どもを放置し買い物する等、気を付けていない親が多い
- ・こどもの声かけは昔からあった（飴ちゃんあげる等）が、世の中が変わってきた
- ・成人女性も夜遅く帰宅する場合ホイッスルブザーを持った方がよい
- ・小4女子が大人を見た目だけで判断している  
青パトや見守り隊もたくさんいるが、服装がきちんとしていても怪しい人がいることを子ども自身が意識する必要がある
- ・昨年と比較してコロナ禍での状況の変化があれば聞きたい
- ・夕方の時間帯をもっと意識して皆で見守る必要がある
- ・犯罪者は子どもの頃の育てられ方に問題があるため、今後の減少を考えるには現在の教育が大切
- ・大阪市、東淀川区ともに減少している数字を見ると施策がうまくいっていると思う
- ・区の青パトも15～17時巡回してもらおうとよい、取組強化の働きかけを
- ・コロナ禍から戻った時に犯罪件数が増加しないよう取組みを考えることが必要
- ・夕方の見守りでマスクの人が不審者か地域の人か区別がつきにくいので、工夫が必要
- ・子ども達が地域の大人を知る機会が作れていないため、見守り隊等に腕章やネームタグ等見分けのつくものを
- ・減少している原因、対策等効果があったことを教えてほしい

#### ※議題2に対する意見等に対し警察から（服部警部補）

##### <コロナ禍及び収束後の対策は？>

- ・今できることとして子どもたちへの意識づけ（学校とZOOMを使ってオンライン放送での防犯教室等）
- ・青パトが校区に1台あることは強み、効果は大きいので連携を
- ・見守り隊が10か所以上あるが高齢化が課題
- ・声かけ事案等は街頭に設置の防犯カメラの効果により捕まえることができている
- ・安まちメールを利用することにより事案の発生場所や検挙の内容等知ってほしい
- ・ひったくり防止カバーの普及も効果を発揮している
- ・該当犯罪が減少した分、特殊詐欺等が増えていると思われる

#### 議題3 特殊詐欺の防止について（服部警部補より説明）

- ・いつどこでだれが狙われるかわからない、次はあなたかも
- ・自宅の固定電話にかかり、相手と対面することはない（掛け子）
- ・1位はオレオレ詐欺、2位は還付金詐欺、3位は架空請求詐欺  
金額3000万、年齢60～90歳、女性が70%
- ・今年度「受け子お断りステッカー」「出し子出禁ステッカー」を作成し配付
- ・キャッシュカードをとる詐欺が多い、カードに鉄をいれても入れ方によりカードの使用可能
- ・アポ出電阻止のため防犯機能付き電話の普及、警察が1件ずつ電気店に付添い、設置までのお手伝いをする取組を開始、10数件設置  
犯人は必ず電話を使用するので犯人を撃退可能
- ・最近2億2千万の被害にあわれ、銀行で出金している（防犯機能付き電話を購入していれば被害にあわずに済む）

※議題3に対する意見等

- ・大隅東連合会議で周知されていた
- ・母に買取します等電話がかかっている、近隣でも高齢単身世帯で未遂におわる案件あり
- ・「撃退電話があるよ」→「私はひっかからへん」に無理強いすることも難しい
- ・警察が同伴し設置までとは初めて知った、周囲や福祉団体にも情報を共有したい
- ・近くの高齢者に勧めたい
- ・カードに鉄をいれても使えるとは驚いた、母も85歳になると頼りなくなっている
- ・詐欺まがいにあい電話を変えたが、録音機能付き電話にしてからまったくない  
いい取組みなので頑張ってほしい
- ・オレオレ詐欺が東淀川で23%もありびっくり、手口がだんだん巧妙になっている
- ・ネットを活用できる者は不審な電話番号か否か調べることができるが、そうでない人のために防犯機能付き電話の取組を広めたい
- ・全体の犯罪傾向として、ステイホームの状況から今年はすべての人がターゲットになり得る
- ・仕事上で受ける勧誘電話でも、次から次へとあの手この手で勧めてくる
- ・防犯機能付き電話を高齢者の集まるイベント等で実際のシーンをデモンストレーションすれば広がるのではないかと、使い方等がわからない人が多いのではないかと

※議題3に対する意見等に対し警察から（服部警部補）

- ・自動録音で迷惑防止アナウンスが流れる、犯人は声を録音されることを嫌う  
留守番電話の時でも声を残さない
- ・非通知を拒否するもの、色で警告するタイプのもの等各種あり
- ・高齢者は電話がかかるとすぐにとってしまう
- ・留守電メッセージに男性の声を利用する方法もある
- ・「東淀川SAGI★GEKI隊」プロジェクトチームは私服で活動中、店舗へ一緒に行き購入（自己負担）後、自宅へ設置、その後どうですかの声かけのアフターフォローも  
行っている
- ・コロナ禍でイベントに参加は難しいため、1件1件回っている